



# 令和2年度 学校経営方針（案）

丹波市立前山小学校

## 学校教育目標

ふるさとを愛し、みんなとともに未来を創る 前山っ子の育成

～ きのうよりも 一步のびる ～

- ・憲法や教育関係法規
- ・現在情勢と将来の教育展望
- ・県教委方針
- ・市教委方針

- 学校評価の反映
- ・児童の実態
- ・教職員の願い
- ・家庭や地域の願い

## めざすこども像 自治自立

- 学ぶ楽しさを感じながら、めあてに向かって粘り強く取り組める子
- 互いに認め合い、自分も相手も大切にできる子
- 明るく元気に、自分ができることに進んで行動できる子

### 【知の教育】

- 「わかる・できる」実感を重ねながら、学習意欲を高め、望ましい学習習慣の定着を図る。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。

### 【徳の教育】

- 愛され、認められ、感謝される関係性の中で自己有用感を伸長させる。
- 個性を尊重し、居場所づくりに努め自尊感情を育てる。
- 郷土に誇りを持ち、夢を育てる。

### 【体の教育】

- 健康への関心を高め、体力向上をめざす。
- 安全教育、防災教育の児童への主体的な浸透
- 挑戦しようとする意欲を育てる。

## 実践事項

### I 「確かな学力」の定着

- 「わかる・できる」楽しさを追求しながら、知識・理解の質を高め、基礎・基本の定着を図る。
  - ・意欲を持たせ、わかりやすいめあての設定
  - ・個に応じた指導による個々のつまずきの解消
- 自分からの課題に進んで取り組めるような家庭学習の工夫
- 「主体的で対話的で深い学び」の実現を図る。
  - ・「教え考えさせること」と「考え深めること」を組み合わせた学習の構築とカリキュラムマネジメント（教科横断的な計画）の実現
  - ・学習したことを「生かす」場の設定
- 特別の教科道徳と、外国語・外国語活動やプログラミング学習等に関する授業実践と授業改善の追求
- 学習の成果、自らの成長、社会を支える人々、生き方への関心を高め、自立への意欲を高める。

### II 「豊かな心」の育成

- 愛され・認められ・感謝される関係性の中で「自己有用感」を伸長させる。
  - ・「   」に対する「確かな毎日」の取組に、褒められ、認められ・感謝される機会をいっぱいにする。
  - ・道徳教育や人権・同和教育を要として、児童の個性を尊重し互いに認め合う集団作りを実践する。
  - ・児童の主体的な活動による「絆づくり」の推進といじめのない学校・学級づくりを進める。
  - ・児童や保護者に寄り添い、専門的な機関と連携を図りながら、居場所づくりを中心に据えた不登校対応。
- 地域の教育資源を積極的に取り入れ、「地域を学ぶ、地域から学ぶ」中で、郷土に対する誇りや地域の活動に積極的に参加しようとする態度を育てる。
- 環境や福祉に対する関心を高め、よりよい社会（持続的な）をめざそうとする心を育てる。

### III 「健やかな体」の育成

- ねらいを明確にし、系統的に行う体育授業や体育的行事の充実を図る。
- 外遊びや運動遊び、体験的活動を積極的に推進し、体を動かす楽しさを体験させる。
- 保健（健康教育）への関心を高め、生活の中で実践していく。
- 生活習慣に関する正しい知識を身に付け、家庭と連携しながらの健康な暮らしを心がける習慣を育てる。
- 安全教育や防災教育の児童への浸透による危険回避能力の育成を図り、地域への愛着と誇りに根ざした防災教育を推進する。

### IV 信頼される開かれた学校づくり

- 「地域とともにある学校づくり」の推進による活力ある学校づくり（オープンスクールや懇談会、発表会等の活用と、防災教育での連携等）・・・コミュニティスクール前山による学校運営を進める。
- 保護者との信頼関係を基盤として、児童の育成の目標や課題を共有する。

## 目指す教師像

- 児童や保護者の思いに寄り添い、明るい笑顔と温かいまなざしで児童の成長を願う。
- 児童を一人の人間として尊重し、褒め、認め、励まし、やる気にさせる言葉がけをこころがける。
- 働きやすい職場環境をつくる一人となり、「チーム前山小」の一員として、全職員で全児童を育てる。
- 教職員としての誇りと学び続ける姿勢を持ち、自らの教養と力量を高める。
- ワークライフバランスを実践し、心身ともに健康に勤める。